

第6学年 単元別学習内容一覧

◎ わくわく算数学習				
小単元	時	ページ	学習内容	
(課題設定)	1	6～9	○割合の増減から何倍になるかを考える学習を通して、自分で考えるときの方法や説明の仕方、話し合いのやり方等算数学習の進め方を知る。 ○自分で考え、みんなで話し合う算数学習の進め方のよさに気づく。	

1 対称な図形					
目 標				指導時数・時期	
○ 図形の対称性について、図形を折り重ねたり回したりする活動を通して線対称や点対称の意味を理解し、対称な図形の性質や作図の仕方を考えたり多角形の対称性を調べたりすることを通して、平面図形の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。				9 時間 2 学期制：4 月上旬～4 月下旬 3 学期制：4 月上旬～4 月下旬	
(知) ・対称の軸や対称の中心、対応する点や直線の意味を理解することができる。また、操作活動を通して、線対称・点対称な形を理解し、作図することができる。 (思) ・対称性に着目して、正多角形を考察し、対称の軸の数、対称の中心を明らかにすることができる。 (態) ・日常生活の中には、美しい形、整った形があることに関心を持ち、図形の対称性に着目しながら意欲的に調べようとする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ	—	250	・5 年「合同な図形」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	10～13		○蝶や風車などの身のまわりの整った形の特徴を、紙に写し取って調べ、単元の課題をつかむ。【態 度】	★A や Z など、折って重なる形や回して重なる形をいろいろみつける。
①線対称	2	14～15	・問 3 ではヨの形を用意し、操作させてもよい。 ・問 5 では、教科書の写真や図にある形をみて、線対称といえるわけを考える。	○M の形を折る操作を通して、線対称の意味を理解し、対称の軸で折り重ねたときに重なる点や直線を調べる。【知・技】 ○線対称の意味にもとづいて、身のまわりから線対称な形を見つける。【思判表】	★問 5 では、身のまわりの写真や都道府県マークから、対称の軸をみつけさせてもよい。
	3	16	・問 6 では、前時で操作した M の形を使って、線対称な図形の性質をとらえる。	○M の形について、対称の軸に着目して線対称な図形の性質を調べる。【思判表】	★もっと練習 p.256 に進む。
	4	17	・問 8 では、かく前にどのような形になるかの見通しをもたせる。 ・問 10 では、方眼紙を使って、いろいろな線対称な図形をかく。	○線対称な図形の性質を用いて、線対称な図形をかく。【知・技】	★問 10 では、方眼紙を使わずに、いろいろな線対称な図形をかく。複雑な形をデザインさせてもよい。
②点対称	5	18～19	・問 3 では S の形を用意し、操作させてもよい。 ・問 5 では、教科書の写真や図にある形をみて、点対称といえるわけを考える。	○N の形を回す操作を通して、点対称の意味を理解し、対称の中心で回して重ねたときに重なる点や直線を調べる。【知・技】 ○点対称の意味にもとづいて、身のまわりから点対称な形を見つける。【思判表】	
	6	20	・問 6 では、前時で操作した N の形を使って、点対称な図形の性質をとらえる。	○N の形について、対称の中心に着目して点対称な図形の性質を調べる。【思判表】	★p.19 の問 5 に戻り、身のまわりの写真や地図記号から、対称の中心をみつけさせてもよい。 ★もっと練習 p.256 に進む。
	7	21	・問 8 では、かく前にどのような形になるかの見通しをもたせる。 ・問 10 では、方眼紙を使って、いろいろな点対称な図形をかく。	○点対称な図形の性質を用いて、点対称な図形をかくことができる。【知・技】	★問 10 では、方眼紙を使わずに、いろいろな点対称な図形をかく。複雑な形をデザインさせてもよい。
③多角形と対称	8	22～23	・薄紙に写し取って調べさせる。	○対称性の観点から三角形や四角形などの既習の図形をとらえ直す。【態 度】 ○対称の軸の数を調べたり、対称の中心を見つけたりする。【知・技】	★円の対称性についても調べる。(コラム)
学びのまとめ	9	24～25	・たしかめようの自己評価に基づき、理解が十分でない内容をふり返らせる。	○学習内容の理解を確認する。 【知・技】 たしかめよう問 1・問 2 【思判表】 たしかめよう問 3 【態 度】 ふりかえろう	★やってみように取り組む。

2 文字と式					
目 標				指導時数・時期	
○ 数量やその関係について、 x や y を使って式に表したり文字式の意味を具体的に即して考えたりすることを通して、文字を使った式の理解や対応する値を求めることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				7 時間 2 学期制：4 月下旬～5 月中旬 3 学期制：4 月下旬～5 月中旬	
(知)・○や△などの代わりに x などの文字を用いることを理解し、文字を使って数量やその関係を式に表したり、文字に数をあてはめて x などの値を求めたりすることができる。					
(思)・文字を使って表された式の意味を考察し、具体的に即していろいろによみとることができる。					
(態)・文字を使うよさがわかり、数量やその関係を進んで文字を使った式で表そうとする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ	—	250	・5 年「変わり方」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	26	・導入では、まず、挿絵にある 50 円、60 円、70 円、…の値段の鉛筆を 6 本買ったときの代金を求める式をかき、ことばの式を導く。	○1 本○円の鉛筆を 6 本買ったときの代金を△円として式にかく。 【知・技】 ○○や△の代わりに x や y などの文字が使えることを知り、単元の課題をつかむ。【態 度】 ○ x や y を使って式に表したり、 x や y の値を求めたりする。【知・技】	★問 2 の後、 $x \times 6 = y$ のような式を提示し、それに合う文をつくらせる。
①文字を使った式		27～28			
	2	29	・問 3 では、まず、ことばの式に表してから考える。 ・問 3 の㊸では、表を使って答えを求める。	○鉛筆を何本かと消しゴムを 1 個買う場面、鉛筆の本数 x 本と代金 y 円の関係を式に表す。【知・技】 ○ x の値に対応する y の値を求める。 【知・技】	★問 4 の後、 $80 \times x + 70 = y$ のような式を提示し、それに合う文をつくらせる。
	3	30	・問 5 では、まず、ことばの式に表してから考える。	○高さ 8cm の三角形について、底辺 x cm と面積 y cm ² の関係を式に表す。【知・技】 ○ x の値が小数の場合の y の値を求める。【知・技】	★もっと練習 p.257 に進む。
●練習	4	31		○学習内容を確実に身につける。	
②式のよみ方	5	32	・問 2 では、全体で文を線分図に整理して数量の関係をとらえさせてから、 x を使った式にかかせる。	○クッキーや紅茶を買う場面、クッキー 1 枚の値段を x 円としてつくった $x \times 16$ や $x + 600$ などの式をみて、何を買ったときの代金かを考える。【思判表】	★問 3 のような問題をつくり、解きあう。
	6	33	・まずは、 a を具体的な数値におきかえて考えさせる。	○底辺 a cm、高さ 8cm の三角形の面積を求める 3 つの式から、面積をどのように考えて求めたかを図と関連づけて考える。【思判表】	★もっと練習 p.257 に進む。
学びのまとめ	7	34～35	・たしかめようの自己評価に基づき、理解が十分でない内容をふり返らせる。	○学習内容の理解を確認する。 【知・技】たしかめよう問 1・問 2 【思判表】たしかめよう問 3 【態 度】ふりかえろう	★やってみように取り組む。

3 分数×整数、分数÷整数					
目 標				指導時数・時期	
○ 分数と整数の乗除について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して、分数と整数の乗除計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算の仕方を理解し、計算することができる。				2 時間 2 学期制：5 月中旬 3 学期制：5 月中旬	
(知)・分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算ができる。					
(思)・分数の意味をもとに、分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算の仕方を考えることができる。					
(態)・分数に整数をかけたり、整数でわったりする計算に進んで取り組もうとしている。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ	—	251	・5 年「分数」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	36	・導入では、 0.8×4 の計算の仕方として、0.1 の(8×4)個分という見方を確認する。	○ペンキを塗る場面、既習の 0.8×4 をもとに $3/5 \times 4$ と立式し、本時の課題をつかむ。【態 度】	★複数の計算の仕方を考える。 ★面積図を使って説明させる。 ★もっと練習 p.258 に進む。
		37	・問 1 では、面積図を使って視覚的に計算の仕方をとらえさせる。 ・問 3 は、①と③で計算の仕方を確認する。(その他の小問は次時の冒頭で前時の確認問題として取り扱うことも可)	○ $3/5 \times 4$ や $5/6 \times 2$ の計算の仕方を、分数の意味や図から考える。【態 度】	
	2	38～39	・問 1 では、面積図を使って視覚的に計算の仕方をとらえさせる。 ・問 3 は、①と③で計算の仕方を確認する。(その他の小問は次時の冒頭で前時の確認問題として取り扱うことも可)	○ペンキを塗る場面で、 $4/5 \div 2$ と立式し、本時の課題をつかむ。【態 度】 ○ $4/5 \div 2$ や $4/5 \div 3$ の計算の仕方を、図や式を使って考える。【思判表】	★複数の計算の仕方を考える。 ★面積図を使って説明させる。 ★もっと練習 p.258 に進む。

＊ 復習				
小単元	時	ページ	学習内容	
	1	40～41	○既習事項の確認と持続	

4 分数×分数					
目 標				指導時数・時期	
○ 分数をかける計算や逆数について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して分数のかけ算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				13 時間	
(知) ・分数をかける計算の意味を十分に理解し、計算することができる。また、逆数の意味や分数の計算においても交換法則や結合法則、分配法則が成り立つことを知る。				2 学期制：5 月中旬～6 月上旬	
(思) ・分数の意味分数に分数をかける計算の意味や仕方を、筋道立てて考えることができる。				3 学期制：5 月中旬～6 月上旬	
(態) ・分数に分数をかける計算に進んで取り組もうとしている。また、分数のかけ算を活用して、いろいろな問題を解決しようとする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ	—	251	・5 年「小数のかけ算」「分数」、6 年「分数×整数、分数÷整数」の学習を繰り返す。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	42	・乗数が整数のときから類推して、ことばの式を使って立式させる。	○1dL で 4/5m ² 塗れるペンキ 1/3dL で塗れる面積を求めるという課題をつかむ。【態 度】	★次時に向けて複数の計算の仕方を考える。
①分数をかける計算		43		○4/5×1/3 の意味について考え、数直線図や関係図を使って説明する。【思判表】	
	2	44	・面積図を使って視覚的に計算の仕方をとらえさせる。	○4/5×1/3 の計算の仕方を、図を使ったり、整数の計算に帰着させたりして考え、説明する。【思判表】	★複数の計算の仕方を話しあい、まとめる。
	3	45	・面積図を使って視覚的に計算の仕方をとらえさせる。 ・問 5 は、①で計算の仕方を確認する。(その他の小問は次時の冒頭で前時の確認問題として取り扱うことも可)	○4/5×1/5 の計算をする。【知・技】 ○4/5×2/3 を立式し、その計算の仕方を考え説明する。【思判表】 ○(分数)×(分数)の計算をする。【知・技】	★面積図を使って説明させる。 ★もっと練習 p.258 に進む。
	4	46	・問 7 の①や問 9 の①で計算の仕方を確認する。(その他の小問は、本時では省き、第 7 時で扱うことも可)	○(整数)×(分数)や(帯分数)×(帯分数)の計算をする。【知・技】	★もっと練習 p.258 に進む。
	5	47	・小数を分数に直す考え方を確認する。 ・問 2 の①や問 4 の①で計算の仕方を確認する。(その他の小問は、本時では省き、第 7 時で扱うことも可)	○0.7×1/3 などの小数と分数が混合したかけ算をする。【知・技】	★もっと練習 p.259 に進む。
	6	48		○80×1/4, 80×1, 80×6/5 などで、被乗数と積の大小関係を調べる。 【知・技】 ○乗数の大きさをもとに、積の大小関係を判断する。【思判表】	
●練習	7	49		○学習内容を実身に身につける。	
②分数のかけ算を使って	8	50	・問 1 の④は、全体で確認しながら考えていく。	○辺の長さが分数の場合の面積や体積の求め方を考え、説明する。【思判表】 ○辺の長さが分数の場合にも、面積や体積を求める公式が使えることを理解し、適用する。【知・技】	★もっと練習 p.259 に進む。
	9	51	・問 1 では、時計の図をみて考える。	○3/4 時間が何分かを求める。【知・技】 ○分数のかけ算を活用し、20 分を 1/3 時間として考え、時速から道のりを求める。【態 度】	★もっと練習 p.259 に進む。
	10	52～53	・関係図にかいて数量の関係をとらえてから、立式させる。	○24cm の 2/3 倍の長さや、20cm や 32cm が 24cm の何倍かを求めて、考えたことを図や式を使って説明する。【思判表】 ○割合が分数で表される場合の比較量や割合を求める。【知・技】	★もっと練習 p.259 に進む。
	11	54	・小数を分数に直す考え方を確認する。	○2 つの分数の積を調べて、逆数の意味を理解し、いろいろな数の逆数を求める。【知・技】	★もっと練習 p.260 に進む。

	12	55	・問1では、分担して取り組む。	○分数の場合にも分配法則や交換法則、結合法則が成り立つことを確かめる。【態度】 ○計算法則を使って、工夫して手際よく計算する。【知・技】	★もっと練習 p.260 に進む。
学びのまとめ	13	56～57	・たしかめようの自己評価に基づき、理解が十分でない内容をふり返らせる。	○学習内容の理解を確認する。【知・技】 たしかめよう問1～問3 【思判表】 たしかめよう問4 【態度】 ふりかえろう	★やってみように取り組む。 ★分数と小数の混合計算、時間の分数表示などの発展問題に取り組む。

5 分数÷分数					
目 標				指導時数・時期	
○ 分数でわる計算について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して分数のわり算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				11 時間 2 学期制：6 月中旬～6 月下旬 3 学期制：6 月中旬～6 月下旬	
(知) ・分数でわる計算の意味を十分に理解し、計算することができる。 (思) ・分数でわる計算の意味や仕方を、筋道立てて考えることができる。 (態) ・分数でわる計算に進んで取り組もうとしている。また、分数のわり算を活用して、いろいろな問題を解決しようとする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ	—	252	・5 年「小数のわり算」、6 年「分数×分数」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	58	・乗数が整数のときから類推して、ことばの式を使って立式させる。	○1/3dL で 3/5m ² 塗れるペンキ 1dL で塗れる面積を求めるという課題をつかむ。【態度】 ○3/5÷1/3 の意味について考え、数直線図や関係図を使って説明する。【思判表】	★次時に向けて計算の仕方を考える。
①分数でわる計算		59		○3/5÷1/3 の計算の仕方を、整数の計算に帰着させて考え、説明する。【思判表】 ○3/5÷1/4 の計算をする。【知・技】	★計算の仕方を話しあい、まとめる。
	2	60		○3/5÷2/3 を立式し、その計算の仕方を考え説明する。【思判表】 ○(分数)÷(分数)の計算をする。【知・技】	★もっと練習 p.260 に進む。
	3	61	・問5は、①で計算の仕方を確認する。(その他の小問は次時の冒頭で前時の確認問題として取り扱うことも可)	○(帯分数)÷(分数)や(整数)÷(分数)の計算をすることができる。【知・技】	★もっと練習 p.260 に進む。
	4	62	・問7の①や問9の①で計算の仕方を確認する。(その他の小問は、本時では省き、第7時で扱うことも可)	○小数と分数が混合したかけ算の仕方を理解し、その計算ができる。【知・技】	★もっと練習 p.261 に進む。
	5	63	・小数を分数に直す考え方を確認する。 ・問2の①や問4の①で計算の仕方を確認する。(その他の小問は、本時では省き、第7時で扱うことも可)	○60÷2/3, 60÷1, 60÷6/5などで、被除数と商の大小関係を調べる。【知・技】 ○除数の大きさをもとに、商の大小関係を判断する。【思判表】	★もっと練習 p.261 に進む。
●練習	7	65		○学習内容を確実に身につける。	★もっと練習 p.261 に進む。
②分数のわり算を使って	8	66		○分数のわり算を活用し、4/5 時間で 20km 走ったときの時速を求める。【態度】	★もっと練習 p.261 に進む。
	9	67	・「割合」「もとにする量」「くらべる量」が何かを確認する。 ・関係図にかいて数量の関係をとらえてから、立式させる。	○2/3m や 2m が 4/3m の何倍かを求めて、考えたことを図や式を使って説明する。【思判表】 ○割合を分数で求める。【知・技】	★もっと練習 p.261 に進む。
	10	68～69	・関係図にかいて数量の関係をとらえてから、立式させる。 ・コラム「文と図と式」は、次時の冒頭で前時までの確認として取り扱ってもよい。	○2/3 が 600mL のときの全体の量を求めて、考えたことを図や式を使って説明する。【思判表】 ○割合が分数で表された場面で、基準量を求める。【知・技】	★もっと練習 p.261 に進む。
学びのまとめ	11	70～71	・たしかめようの自己評価に基づき、理解が十分でない内容をふり返らせる。	○学習内容の理解を確認する。【知・技】 たしかめよう問1～問3 【思判表】 たしかめよう問4 【態度】 ふりかえろう	★やってみように取り組む。 ★分数と小数の乗除混合計算、速さや割合を求めるなどの発展問題に取り組む。

6 資料の調べ方

目 標					指導時数・時期
○ 資料のちらばりについて、ドットプロット・度数分布表・ヒストグラムを用いた分類・整理の仕方や代表値の意味を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する力を育むとともにその方法を生活や学習に活用しようとする態度を養う。					9 時間 2 学期制：6 月下旬～7 月中旬 3 学期制：6 月下旬～7 月中旬
(知) ・ドットプロット、度数分布表やヒストグラムを使って資料を整理したり、資料から代表値を求めたりすることができる。また、統計的な問題解決の方法を理解することができる。 (思) ・代表値や表・グラフをもとに適切に判断したり、集めた資料を整理するのに適切な表現方法を選択したりすることができる。また、得られた結論について多面的に考えることができる。 (態) ・代表値や表・グラフのよさや統計的な問題解決の方法を知り、身のまわりの事柄などを調べるときにそれをいかそうとする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ	—	252	・3 年「表とグラフ」、5 年「平均とその利用」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	72	・導入では、p.72 の資料を概観させて、整理の仕方や着目すべき値を話しあわせる。資料の整理は次時で扱うことを知らせる。	○6 年 1 組、2 組、3 組のソフトボール投げの記録をみて、その比べ方について考えることを通して、単元の課題をつかむ。【態 度】 ○平均値を求めて比べる。【知・技】	★最大値、最小値、範囲という用語を取り上げる。(コラム) ★次時に向けて、資料を大ききさんお順に並べればよいことに気づかせる。
①資料の整理		73～74		○ソフトボール投げの記録をドットプロットに整理する。【知・技】 ○ドットプロットを使って資料の特徴を見いだす。【思判表】	
	2	75		○中央値や最頻値の意味を理解し、求める。【知・技】 ○代表値を使って資料の特徴を見いだす。【思判表】	→
	3	76～77		○ドットプロットから度数分布表に整理する。【知・技】 ○度数分布表を使って資料の特徴を見いだす。【思判表】	★もっと練習 p.262 に進む。
②ちらばりのようすを表す表・グラフ	4	78～79	・「以上」「未満」の用語を確認する。	○度数分布表からヒストグラムをかく。【知・技】 ○日本の人口についての複数のグラフから、情報を適切によみとって問題を解く。【思判表】	★もっと練習 p.263 に進む。
	5	80～81			
	6	82～83			
③資料の調べ方を使って	7・8	84～85	・「総合的な学習の時間」等と関連づけて、学級全体で統計的な解決の仕方を確認しながら進める。適宜、資料を提供したり、考察の観点を示したり、必要な支援をする。	○統計的な問題解決の方法について知る。【知・技】 ○身のまわりから問題を見つけて、統計的な問題解決に取り組む。【態度】	★3 時間扱いとして、「総合的な学習の時間」等とも関連づけながら、自ら課題をみつけ統計的な解決をはかりまとめる。
学びのまとめ	9	86～87	・たしかめようの自己評価に基づき、理解が十分でない内容をふり返らせる。	○学習内容の理解を確認する。 【知・技】 たしかめよう問 1・問 2 【思判表】 たしかめよう問 3 【態 度】 ふりかえろう	

活 わくわく算数ひろば

小単元	時	ページ	学習内容
●どんな計算になるのかな	1	88～89	○根拠のもとづいて、分数のかけ算やわり算の演算決定をすることができる。
●算数の自由研究	2	90～91	○「もようづくり」といった自由研究に取り組み、見通しをもって考える力や粘り強く取り組む態度を伸ばす。

＊ 復習

小単元	時	ページ	学習内容
	1	92～93	○既習事項の確認と持続

7 円の面積					
目 標				指導時数・時期	
○ 円の面積について、その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して、円や円弧を含む複合図形の面積を求めることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				5 時間	
(知) ・円の面積の求め方とその公式を理解し、公式を使って円の面積を求めたり、円弧を含む複合図形の面積を求めたりすることができる。				2 学期制：7 月中旬～9 月上旬	
(思) ・円の面積の求め方やその公式、また、円弧を含む複合図形の面積の求め方を考えることができる。				3 学期制：9 月上旬	
(態) ・見積もりや様々な操作活動を通して、円の面積を既習の図形の面積と関連づけて考えようとする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ	—	253	・5 年「円と正多角形」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	94	・半径を 1 辺とする正方形を操作しながら円のおよその面積を考えさせる。	○円の面積の求め方を調べていくという単元の課題をつかむ。【態度】	
		95		○正方形の面積を利用して円のおよその面積を見当づける。【態度】	
	2	96～97	・3 人の考えを紹介し、実際はかいとの考えでやらせる。	○方眼を利用して、円のおよその面積を見積もる。【思判表】	→
	3	98～99	・円周の求め方を確認する。	○円の面積の求め方を考え、求積公式を導く。【思判表】 ○公式を使って円の面積を求める。【知・技】	★複数の解決方法を考える。 ★もっと練習 p.264 に進む。
学びのまとめ	4	100～101	・特にかいとの考えは難しいので折り紙などを使って確かめさせる。	○円弧を含む複合図形の面積の求め方を考える。【思判表】	★もっと練習 p.264 に進む。
	5	102～103	・たしかめようの自己評価に基づき、理解が十分でない内容をふり返らせる。	○学習内容の理解を確認する。 【知・技】 たしかめよう問 1・問 2 【思判表】 たしかめよう問 3・問 4 【態度】 ふりかえろう	★p.103 のコラム「円の面積の求め方」の方法でも取り組む。 ★円の面積と半径の関係を調べ、比例しているかどうかを判断する。

8 立体の体積					
目 標				指導時数・時期	
○ 柱体の体積について、その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して、体積を求めることができるようにしたり立体図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				5 時間	
(知) ・柱体の体積の求め方とその公式を理解し、公式を使って柱体の体積を求めたり、複合図形の体積を求めたりすることができる。				2 学期制：9 月上旬～9 月中旬	
(思) ・直方体の体積の求め方をもとに、角柱や円柱の体積の求め方やその公式、また、複合図形の体積の求め方を考えることができる。				3 学期制：9 月中旬～9 月下旬	
(態) ・直方体の体積の学習をいかし、柱体の体積の学習に進んで取り組もうとする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ	—	253	・5 年「体積」「角柱と円柱」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	104	・導入では、直方体や立方体の体積の求め方を確認する。	○柱体の体積の求め方を調べていくという単元の課題をつかむ。【態度】	★もっと練習 p.265 に進む。
		105～106		○直方体やその半分の三角柱の体積が、(底面積)×(高さ)で求められることを理解する。【知・技】	→
	2	107	・前時の三角柱との相違点を明らかにする。	○三角柱の体積が(底面積)×(高さ)で求められることを理解する。【知・技】 ○四角柱の体積の求め方を考える。【思判表】	★もっと練習 p.266 に進む。
	3	108		○角柱の体積が(底面積)×(高さ)で求められることをもとに、円柱の体積の求め方を考える。【思判表】 ○公式を使って、円柱の体積を求める。【知・技】	★もっと練習 p.266 に進む。
学びのまとめ	4	109		○柱体の体積の求め方をいかして、複合図形の体積の求め方を考える。【態度】	→
	5	110～111	・たしかめようの自己評価に基づき、理解が十分でない内容をふり返らせる。	○学習内容の理解を確認する。 【知・技】 たしかめよう問 1・問 2 【思判表】 たしかめよう問 3 【態度】 ふりかえろう	★やってみように取り組む。さらに、同じようにして円錐の体積についても調べ、錐体の体積は柱体の 1/3 になることを知る。

9 比とその利用					
目 標				指導時数・時期	
○ 比について、その表し方や比の値、等しい比の意味を理解し、割合が比で表された問題を解決することを通して、割合の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。				8 時間	
(知) ・比の意味と表し方を理解し、比を用いて表したり、等しい比をみつけて比を簡単にしたりすることができる。				2 学期制：9 月中旬～10 月上旬	
(思) ・比を用いて考え、問題を解決することができる。				3 学期制：9 月下旬～10 月上旬	
(態) ・比のよさがわかり進んで活用しようとする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ		254	・5 年「割合」「分数」、6 年「分数÷分数」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	112		○オーロラソースをつくる場面で、マヨネーズとケチャップの割合の表し方を調べていくという単元の課題をつかむ。【態 度】	
①比		113		○比の意味とその表し方を理解する。【知・技】	
②等しい比	2	114～115	・それぞれのかげの長さとおぼろの長さの比についてちがう点、同じ点を整理する。	○長さの違う棒を立てたときの影の長さを調べる場面で、比が等しいかどうかを調べる。【知・技】	★もっと練習 p.267 に進む。
	3	116～117		○40:50 と 120:150 の間の関係をしらべ、等しい比の性質について理解する。【知・技】 ○等しい比の性質を使って、比を簡単にする方法を考える。【思判表】	★複数の解決方法を考える。 ★もっと練習 p.267 に進む。
	4	118		○小数や分数を使って比を表し、それを簡単な整数の比にすることができる。【知・技】	★もっと練習 p.267 に進む。
●練習	5	119		○学習内容を確実に身につける。	
③比を使った問題	6	120		○ケーキをつくる場面で、砂糖と小麦粉から、砂糖や小麦粉の量を求める。【思判表】	★複数の解決方法を考える。 ★もっと練習 p.268 に進む。
	7	121		○2.5m のリボンを 3:2 に分けたとき、それぞれの長さを求める。【思判表】	★複数の解決方法を考える。 ★もっと練習 p.268 に進む。
学びのまとめ	8	122～123	・たしかめようの自己評価に基づき、理解が十分でない内容をふり返らせる。	○学習内容の理解を確認する。 【知・技】 たしかめよう問 1・問 2 【思判表】 たしかめよう問 3・問 4 【態 度】 ふりかえろう	★やってみように取り組む。

思 表を使って考えよう(1)					
目 標				指導時数・時期	
○ 文章題において、数量の関係を表に整理して条件にあう場合に注目して解法を考えることを通して、順序良く調べようどよい場合をみつける考え方をを使って解くことができるようにするとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。				2 時間	
(知) ・表を使ってすべての場合を順序よく整理し、調べることができる。				2 学期制：10 月上旬	
(思) ・表をもとにして、条件にあう場合を見つけたり、条件にあう場合のきまりを考えたりすることができる。				3 学期制：10 月上旬	
(態) ・表を使うことのよさに気づき、進んですべての場合を順序よく表に整理しようとする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
	1	124	・具体物を演示したり、操作させたりして、題意をつかませる。	○3 個入りと 2 個入りを組み合わせて 35 個買うときの買い方を、表にかいて順序よく調べ、条件に合うときのきまりを見つけて解決する。【思判表】	★問 1 の場面で、1 箱の大福の数や合計の大福の数を変えた問題に取り組む。
	2	125	・具体物を演示したり、操作させたりして、題意をつかませる。	○11 枚の仕切り板を L 字に並べて囲まれた部分の面積が最大になる並べ方を、表にかいて順序よく調べ、条件に合う場合を見つけだして解決する。【思判表】	★問 3 の場面で、しきり板の枚数や並べる形を変えた問題に取り組む。

＊ 復習					
小単元	時	ページ	学習内容		
	1	126～127	○既習事項の確認と持続		

10 図形の拡大と縮小					
目 標				指導時数・時期	
○ 図形の拡大・縮小について、図形を観察する活動を通して拡大・縮小の意味を理解し、拡大図・縮図の性質や作図の仕方を考えたり縮図を用いて距離を調べたりすることを通して、平面図形についての理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。				10 時間 2 学期制：10 月中旬～11 月上旬 3 学期制：10 月中旬～11 月上旬	
(知) ・図形の拡大や縮小の意味を理解し、頂点、辺、角の対応をみつけて拡大図や縮図を作図することができる。 (思) ・拡大や縮小の観点から既習の基本図形の性質を考えたり、拡大図や縮図の作図を通して形や大きさのきまり方を考えたりすることができる。 (態) ・身のまわりや既習の図形の見方に関心を持ち、進んで拡大図や縮図の性質調べや作図などに取り組もうとする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ	—	254	・5 年「合同な図形」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	128～129		○方眼上にかかれた形の関係を考察することを通して、拡大・縮小の意味を理解し、単元の課題をつかむ。 【知・技】	
①拡大図と縮図	2	130～131		○形が同じ 2 つの図形の直線、角の対応を調べ、対応する直線の長さや角の大きさの関係を理解する。 【知・技】 ○2 つの図形が拡大・縮小の関係になっているかを調べ、説明する。【思判表】	★p.129 の㊸と㊹の図をふり返り、縦方向や横方向にのみ伸ばしたときには、対応する辺の比すべてが等しくなることや、対応する角の大きさも等しくならないところがあることを確認する。 ★もっと練習 p.269 に進む。
②拡大図と縮図のかき方	3	132～133	・方眼の目の大きさのちがいに注意させる。	○方眼を使って、図形の拡大図、縮図をかくことができる。【知・技】	★方眼紙に自分の図形にかき、さらにその 2 倍の拡大図、1/2 の縮図をかかせる。
	4	134	・合同な三角形のかき方を確認してから、取り組ませる。	○合同な三角形のかき方をもとに、三角形の拡大図、縮図のかき方を考える。【思判表】	★問 1 では、3 通りのかき方でかく。 ★もっと練習 p.269 に進む。
	5	135		○三角形の拡大図、縮図のかき方をもとにして、四角形の拡大図、縮図のかき方を考える。【思判表】	★問 3 では、BD で分けたとき、CA で分けたときの 2 通りのかき方でかく。
	6	136～137		○1 つの点を中心にした拡大図、縮図のかき方について考える。【知・技】	★もっと練習 p.270 に進む。
	7	138	・具体的な操作をして調べさせる。	○形が同じかどうかの観点から、既習の図形をとらえ直し、拡大、縮小の関係にあるかを考える。【態度】	★正多角形が必ず拡大図、縮図の関係になるわけを考えさせる。
●練習	8	139		○学習内容を確実に身につける。	
③縮図の利用	9	140～141		○縮図を利用して、直接測定できない 2 点間の距離を求める。【知・技】	
学びのまとめ	10	142～143	・たしかめようの自己評価に基づき、理解が十分でない内容をふり返らせる。	○学習内容の理解を確認する。 【知・技】 たしかめよう問 1・問 2 【思判表】 たしかめよう問 3 【態度】 ふりかえろう	★やってみように取り組む。

11 およその形と大きさ					
目 標				指導時数・時期	
○ 面積や体積の概測について、ものの概形のとらえ方を理解し、そのおよその面積や体積の求め方を考えたり説明したりすることを通して、ものの形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				2 時間 2 学期制：11 月上旬 3 学期制：11 月上旬	
(知) ・身のまわりの物の概形をとらえて、そのおよその面積や体積を手際よく求める方法を理解し、概測することができる。 (思) ・身のまわりの物の概形を考えたり、そのおよその面積や体積の求め方を考えたりすることができる。 (態) ・目的にあわせて身のまわりの物の概形をとらえようとしたり、概測のよさを知って活用しようとしたりする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ	—	254	・5 年「面積」、6 年「立体の体積」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	144	・既習の面積公式を確認する。	○概形をとらえて、およその面積を求める。【思判表】	
	2	146～147	・既習の体積公式を確認する。	○概形をとらえて、およその体積を求める。【知・技】	★コラム「体積のはかり方のくふう」で、球などの体積はどのように調べればよいかを考える。

12 比例と反比例

目 標					指導時数・時期
○ 伴って変わる 2 つの数量について、比例や反比例の意味を理解し、その変化の様子や関係を式、表、グラフを用いて調べたり考えたりすることを通して、関数的な見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。					17 時間 2 学期制：11 月上旬～12 月上旬 3 学期制：11 月上旬～12 月上旬
(知) ・比例や反比例の意味や性質を理解し、比例や反比例の関係を、式や表、グラフに表すことができる。 (思) ・数量の変わり方や関係に着目して比例や反比例する事象について考えたり、比例関係を利用して問題を解決したりすることができる。 (態) ・身のまわりの伴って変わる 2 つの数量が比例や反比例の関係にあるかを進んで調べようとしたり、また、比例の関係を利用して身のまわりの問題を解決しようとしたりする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ	—	255	・6 年「文字と式」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
(課題設定)	1	148～149	・導入では、⑥を例にして、比例の定義を確認する。	○いろいろな場面で伴って変わる 2 つの数量の関係を調べ、単元の課題をつかむ。【態 度】 ○水槽に水を入れる場面で、水を入れた時間と深さの関係を表を横にみて調べ、比例していることを調べる。【知・技】	★導入では、⑥から⑧のそれぞれで比例しているかどうかを説明させる。
①比例		150			
	2	151		○水槽に水を入れる場面で、水を入れた時間と深さの関係を表を縦にみて調べ、比が一定であることを理解する。【知・技】	★もっと練習 p.271 に進む。
	3	152	・表を横にみたときと、表を縦にみたときで、順序立てて展開する。	○針金の長さや重さの関係を調べ、比例しているかどうかを判断し、そのわけを説明する。【思判表】	★表を横に見たときと縦に見たときのそれぞれで理由を説明する。
	4	153		○水槽に水を入れる場面で、水を入れた時間と深さの関係を、 x と y を使って式に表す。【知・技】	★もっと練習 p.271 に進む。
	5	154～156	・グラフを作成したら、表との対応を確認する。	○比例の式をもとにグラフをかく。【知・技】 ○比例のグラフの特徴を調べる。【思判表】	
	6	157	・グラフをかくのが困難な場合は、表を作成してから点をうつ。	○鉄の棒の長さや重さの関係を、式に表したりグラフに表したりする。【態 度】	★もっと練習 p.272 に進む。
	7	158～159		○列車が走った時間と道のりの関係を表す比例のグラフをよみとり、問題を解決する。【思判表】	★もっと練習 p.273 に進む。
	8	160～161	・表にかく、式にかく、グラフにかくと、順序立てて展開する。	○伴って変わる 2 量をみつけ、表、式、グラフを使って変化や関係をとらえ、比例しているかどうかを判断する。【思判表】	★表、式、グラフのそれぞれで比例であることを説明し、それらに関連づけて考察する。
●練習	9	162～163		○学習内容を確実に身につける。	
②比例を使って	10	164～165	・表やグラフを用意して支援する。	○ベニヤ板の枚数と厚み、釘の本数と重さといった比例関係を利用した、全体のおよその数の求め方を考える。【思判表】	
	11	166～167	・グラフからよみとった 2 人の位置関係を絵に表して支援する。	○2 人の走った時間と道のりの関係を表した 2 本の比例のグラフをよみとり、問題を解決する。【思判表】	
(課題設定)	12	168	・比例のときと対応させて整理していく。	○面積 12cm^2 の長方形の縦と横の長さの関係を調べ、反比例の意味や性質を理解する。【知・技】	★もっと練習 p.273 に進む。
③反比例		169～170			
	13	171	・表を横にみたときと、表を縦にみたときで、順序立てて展開する。	○ 24km の道のりを進むときの時間と速さの関係を調べ、反比例しているかどうかを判断し、そのわけを説明する。【思判表】	★表を横に見たときと縦に見たときのそれぞれで理由を説明する。
	14	172		○面積 12cm^2 の長方形の縦と横の長さの関係を、 x と y を使って式に表す。【知・技】	★もっと練習 p.274 に進む。
	15	173～174	・比例のグラフとのちがいを明確にする。	○反比例の式をもとにグラフをかく。【知・技】 ○反比例のグラフの特徴を調べる。【思判表】	★もっと練習 p.274 に進む。
●練習	16	175		○学習内容を確実に身につける。	
学びのまとめ	17	176～177	・たしかめようの自己評価に基づき、理解が十分でない内容をふり返らせる。	○学習内容の理解を確認する。 【知・技】 たしかめよう問 1・問 2 【思判表】 たしかめよう問 3 【態 度】 ふりかえろう	

思 表を使って考えよう(2)					
目 標				指導時数・時期	
○ 文章題において、数量の変化を表に整理してその和や差に着目して解法を考えることを通して、変わり方のきまりを見つける考え方を活用して解くことができるようにするとともに、用いた表や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。				2 時間 2 学期制：12 月上旬 3 学期制：12 月上旬	
(知) ・表を使って変化する 2 つの数量の和や差を調べることができる。 (思) ・表を使って変化する 2 つの数量の和や差の規則性を考え、問題を解決することができる。 (態) ・表を使うことのよさに気づき、進んで表を使って変わり方を調べようとしたり、変わり方のきまりを見いだそうとしたりする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
	1	178	・問 1 では、まず、⑦で解決の見通しを持たせる。	○120 円のノートと 100 円のノートが、あわせて 50 冊売れて売上高が 5300 円のとき、何冊ずつ売れたかを表を使って求める。【思判表】	★問 1 では、自力で解決の見通しを立てる。
	2	179	・前時と同様に、一方が 0 のときから考えさせてもよい。	○70 円のりんごと 30 円のみかんを、あわせて 40 個買うとりんごの代金ほうが 1300 円高かったとき、何個ずつ買ったかを表を使って求める。【思判表】	★問 3 では、前時を踏まえて、解決の仕方を工夫する。

活 わくわく算数ひろば					
小単元	時	ページ	学習内容		
●見積もりを使って	1	180	○切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、判断することができる。		
	2	181	○簡単に計算できるように切り上げや切り捨てを使って結果を見積もり、判断することができる。		
●算数ラボ	2	182～183	○変数の演算子と整除の条件判定の命令を組み合わせて、ある数の倍数を見つけるプログラムをつくることができる。		

＊ 復習					
小単元	時	ページ	学習内容		
	1	184～185	○既習事項の確認と持続		

13 場合を順序よく整理して					
目 標				指導時数・時期	
○ 場合の数について、落ちや重なりのないように図や表を用いて調べたり場合を整理して考えたりすることを通して、場合の数を求めたり条件にあう場合を見つけたりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。				9 時間 2 学期制：1 月中旬～1 月下旬 3 学期制：1 月中旬～1 月下旬	
(知) ・組み合わせや並べ方を順序よく整理することができる。また、落ちや重なりのないように調べるためには、観点をきめたり、図や表を工夫したりして調べればよいことを理解する。 (思) ・組み合わせや並べ方を順序よく整理し、落ちや重なりのないように調べる方法を考えることができる。また、すべての場合のうち、条件に合うものを考え、判断することができる。 (態) ・落ちや重なりのないように調べることの重要性に気づき、観点をきめたり、図や表を工夫したりして順序よく整理しようとする。					
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
じゅんぴ (課題設定)	—	255	・5 年「整数」の学習をふり返る。	○既習事項の理解を確かめる。	
①場合の数と調べ方	1	186	・導入では、まず、思いつく組み合わせを出してから、順序よく整理するにはどうすればよいかを話しあう。	○4 チームの試合の組み合わせ方を考えることを通して、場合の数について調べていくという単元の課題をつかむ。【態 度】	★効率のよい整理の仕方を考える。 ★もっと練習 p.274 に進む。
		187		○試合の組み合わせが何通りあるかを、順序よく整理して求める。【知・技】	
	2	188		○4 種類のアイスクリームから 3 種類を選ぶ組み合わせを、選ばないものに注目して何通りあるかを考える。【思判表】	★複数の解決方法を考える。 ★もっと練習 p.275 に進む。
	3	189	・問 1 では、第 1 走者から順に決めればよいことに気づかせ、樹形図を使った整理の仕方を知らせる。	○3 人の走る順番が何通りあるかを、順序よく整理して求める。【知・技】	★もっと練習 p.275 に進む。
	4	190		○4 種類のジュースから 1 本ずつ姉妹で選ぶときの選び方が何通りあるかを、順序よく整理して求める。【思判表】	★もっと練習 p.275 に進む。
●練習	5	191		○学習内容を確実に身につける。	
②いろいろな場合を考えて	6	192～193	・まず、絵から、どのような行き方があるかを具体的に話しあわせて題意をつかませる。	○ある地点までいくのに、すべての行き方を調べ、かかる時間や費用の条件に合う場合を見つける。【思判表】	

学びのまとめ	7	194	・まず、絵から、どのような行き方があるかを具体的に話しあわせて題意をつかませる。	○ある地点から周回するのに、すべての行き方を調べ、道のりがいちばん短くなる場合を見つける。【思判表】	★やってみように取り組む。
	8	195	・まず、問題と同じ設定で、実際に手をあげさせて題意をつかませる。	○みかんとバナナを希望にあわせて配る場面で、起こり得る場合を分類、整理して、いくつずついるかを求める。【思判表】	
	9	196～197	・たしかめようの自己評価に基づき、理解が十分でない内容をふり返らせる。	○学習内容の理解を確認する。 【知・技】 たしかめよう 問1 ・ 問2 【思判表】 たしかめよう 問3 ・ 問4 【態度】 ふりかえろう	

思 図を使って考えよう					
目 標				指導時数・時期	
○ 文章題において、問題場面を図に表して全体と部分の割合に着目して解法を考えることを通して、全体を1として割合を考える考え方を使って解くことができるようにするとともに、用いた図や見方・考え方を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 (知) ・線分図を使って、全体を1としたときの割合の意味を理解することができる。 (思) ・全体を1としたとき、線分図を使ってそれぞれの部分が割合でどのように表されるかを考えることができる。 (態) ・全体を1として考えるよさが分かり、それを用いようとする。				2 時間	
				2 学期制：2 月上旬	
				3 学期制：2 月上旬	
小単元	時	ページ	補充コース	基本コース	発展コース
	1	198～199	・150L (30L) の水そうを仮定して答えを求めてから割合の考え方をふりかえらせてもよい。	○水槽いっぱいに入水を入れるのに、10 分かかかる蛇口と 15 分かかかる蛇口があるとき、両方の蛇口を使うと何分で入れられるかを求める。 【思判表】	★問 1 と似た問題をつくり、自分で解いたり、解きあったりする。
	2	200～201	・家から駅まで 1600m と仮定して答えを求めてから割合の考え方をふりかえらせてもよい。	○家から駅まで歩くと 20 分、走ると 8 分かかるとき、はじめに 15 分あると、あと何分走ればつくかを求める。【思判表】	★問 3 と似た問題をつくり、自分で解いたり、解きあったりする。

活 わくわく算数ひろば				
小単元	時	ページ	学習内容	
思 すごろく	1	202～203	○与えられた情報をもとに仮説を立て、それを検証して問題を解くことができる。	
●みらいへのつばさ	2	204～205	○表やグラフなどの資料から必要な情報を選択し、食料自給率についての問題を解決できる。	
	3	206～207	○国際協力の課題を話しあい、課題解決に向けた計画を考える。	

＊ 6 年のまとめ				
小単元	時	ページ	学習内容	
	1 ～ 15	208～233	1 数と量 2 計算と見積もり 3 図形と量 4 変化と関係 5 データの活用 6 問題の見方・考え方 ・中学校で学ぶ「数学」の簡単なしょうかい	

★ ひろがる算数				
小単元	時	ページ	学習内容	
	—	234～248	・アート×算数 ・音楽×算数 ・スポーツ×算数 ・古生物×算数 ・おかし×算数	

★ 学びのサポート				
ページ	学習内容			
250～255	・じゅんぴ			
256～275	・もっと練習			
276～297	・算数資料集			

※巻末にある「学びのサポート」は、少人数学習や自学自習など柔軟な扱いができるように時間配当をしていません。
すべての児童が一律に学習する必要はありません。